

きょういく・さど



令和6年8月27日
佐渡市教育委員会
学校教育課

令和6年度 全国学力・学習状況調査の佐渡市の結果概要

4月18日に行われた全国学力・学習状況調査の佐渡市の結果概要をお知らせします。本調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に行っております。各学校においても、児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善を図る資料として有効にご活用ください。本調査結果を分析し、成果と課題をもとに、学年や担当教科に関係なく教職員全員で授業改善に一層取り組むようお願いいたします。

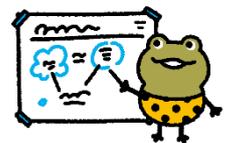
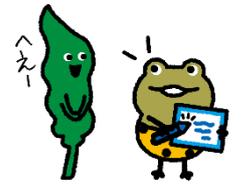
【令和6年度 全国学力調査 平均正答率（％）】

	教科	佐渡市	全国比	新潟県	全国
小学校	国語	68	+0.3	67	67.7
	算数	62	-1.4	61	63.4
中学校	国語	54	-4.1	57	58.1
	数学	43	-9.5	50	52.5

1 学力調査結果から見る佐渡市の実態

(1) 小学校 【平均正答率と全国比 国語68% (+0.3%) 算数62% (-1.4%)】

- 国語は全国平均並みである。算数は全国平均よりやや低かった。
- 国語は「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の正答率が全国平均よりもやや高かった。
- 国語の短答式の問題の正答率は全国平均より6.9ポイント高かった。また、記述式の問題も全国平均より2.0ポイント高かった。
- ▲「読むこと」の領域に関する問題の正答率が全国平均より2.4ポイント低かった。
- 算数は「データの活用」の領域の正答率が全国平均より2.4ポイント高かった。
- ▲「変化と関係」の領域の正答率が全国平均より5.1ポイント低く、課題である。



(2) 中学校 【平均正答率と全国比 国語54% (-4.1%) 数学43% (-9.5%)】

- ▲国語・数学ともに全国平均よりも低い。数学は全国平均よりもかなり低く、大きな課題である。
- ▲国語は「我が国の言語文化に関する事項」や「読むこと」の領域に関する問題の正答率が全国平均よりもかなり低かった。また、短答式の問題の正答率もかなり低かった。
- ▲数学は領域別、観点別に見ても全ての問題において全国平均よりも正答率がかなり低かった。
- ▲数学は特に「数と計算」「データの活用」の領域に関する問題の正答率が全国平均より10ポイント以上下回っており、大きな課題となっている。

2 児童生徒質問から見る佐渡市の実態（※児童生徒質問調査結果の詳細は別添資料を参照）

- 小学校では、「毎日同じくらいの時刻に寝ている」と回答する児童の割合が全国平均より多い。

- 中学校では、スマホ等で動画を視聴する時間が全国平均よりも少ない。（所持率も低い）
- 小学校では、「自分と違う意見について考えるのが楽しい」と肯定的に回答する児童の割合が全国平均よりも高い。
- 小学校では、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と肯定的に回答する児童の割合が全国平均よりも高い。
- 中学校では、「ICT端末の活用により楽しみながら学習を進めることができる」と肯定的に回答する生徒の割合が全国平均よりも高い。
- 小学校では、「前学年までに受けた授業で各教科の学びを生かしながら自分の考えをまとめる活動を行ってきた」と肯定的に回答する児童の割合が全国平均よりも高い。
- 小学校では、国語の学習内容や学び方に対する質問で、肯定的に回答する児童の割合が全国平均よりも高い。
- 小中ともに「理科の学習が好き」と肯定的に回答する児童生徒の割合が全国平均よりも高い。
- 小学校では、「英語の学習が好き」と肯定的に回答する児童の割合が全国平均よりも高い。
- ▲スマホの使い方について、家の人との約束を守っている児童生徒の割合が全国平均よりも低い。「約束がない」という児童生徒の割合が全国平均よりも高い。
- ▲中学校では、「自分にはよいところがある」と肯定的に回答する生徒の割合が全国平均よりも低い。（自己肯定感の高い児童生徒のほうが、正答率が高い傾向にある。）
- ▲小中ともに家庭学習時間が全国平均よりも少ない傾向にある。平日についても土日についても同様。特に中学校の家庭学習時間が全国平均よりもかなり少ない傾向にある。
- ▲小中ともにタブレット端末などのICT機器を「ほぼ毎日活用している」と回答した児童生徒の割合が全国平均よりも低い。
- ▲小中ともに、「算数・数学が好き」と肯定的に回答する児童生徒の割合が全国平均よりも低い。学習内容や学び方に対する質問で、肯定的に回答する児童生徒の割合が全国平均よりも低い。
- ▲中学校では、英語の学習内容や学び方に対する質問で、肯定的に回答する生徒の割合が全国平均よりも低い。

3 佐渡市教育委員会の今後の取組

上述の実態から、児童生徒の自己肯定感を高めることやスマホの使い方、家庭学習の習慣化など、市教委・学校・家庭が一層連携して取り組んでいく必要があります。また、各学校において「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善が進んできています。その成果をより高めるために、1人1台端末の積極的な活用や教科学習の意義や有用性に気付ける指導を充実していくことが、求められています。佐渡市教育委員会としては、今年度の結果分析をもとに以下のように取り組んでまいります。

- 各学校の結果分析をもとにした授業改善の取組に対する支援ならびに助言。（学校訪問等）
- 家庭学習環境整備や習慣化に向けた保護者への協力依頼。地域未来塾・土曜学習（中学校3年対象）による家庭学習の習慣化。キャリア・カウンセリング等を生かした家庭学習への意欲付け。
- 佐渡市の課題の理解と解決に向けた学力向上研修やICT活用研修の実施。
- ICT支援員によるデジタル環境整備の実施。
- 授業改善に向けた取組等についての情報提供。
- 小中校長会や小中学校教育研究会等、各種関係組織との連携。



市民の皆様へ 全国学力・学習状況調査で測定できるのは学力の特定の一部であり、教育活動の一側面であることを十分にご理解くださいますよう、お願いいたします。